

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム つつじⅡ 第2ユニット	評価実施年月日	平成20年1月31日
評価実施構成員氏名	藤田 真衣・久保田 裕子・川口 恵理・宮下 さとみ・宮本 春美		
記録者氏名	藤田 真衣	記録年月日	平成20年3月1日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	事業所の理念があります。理念は会議、研修などを通して共有しています。		話す機会を設け理念の共有を深め理解していきたいと思います。
<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	玄関、休憩室など職員の目につく場所に貼り共有できるように取り組んでいます。		日常生活を支援する中で、行っています
<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	玄関ホールに掲示しています。		見学や入居の際には説明しています。
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	玄関周りに草花、畑があります。又、中庭にはベンチがあり気軽に訪れてもらえる様配慮しています。		近隣の方々が散歩に来られる際、声を掛けさせてもらってます。
<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域の小学校との交流、ホームの夏祭りへの招待、ホテルの収穫祭などの地域との交流を行っています。	○	地域の小学生、近隣住民との交流をさらに深めていきたいと思います。
<input type="checkbox"/> 事業者の力を活かした地域貢献 6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	町内会、民生委員会の方々の協力を、得て取り組んでいます。		花壇作り夏祭り等に協力をお願いしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>評価に対しては職員全員で受け止め改善にとりこんでいます。</p>	○	改善する必要があるれば問題等を話し合う機会を設けたいと思います。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回行っており、家族、地域の方々にサービスや生活状況を報告し意見を伺っています。</p>	○	利用者の方々の意見、意向を伺い家族、地域の方々との交流を深め、サービスの向上に活かしていきたいと思います。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>グループホーム協議会に参加しています。</p>	○	これからも参加し、情報交換を行っていききたいと思います。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>管理者研修で学びました。</p>	○	今後も研修などに参加する機会を作り、活動できる様支援したいと考えています。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>虐待防止の研修会に職員が参加しました。定期的に社内研修を行っています。</p>	○	今後も外部研修に参加し社内研修を定期的に行い職員全員で認識していきたいと思います。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約前は、十分に説明を行い契約後にも利用者、家族とよく話し合っています。</p>		重要事項説明書に書いてあります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族の面会時、運営推進委員会において、意見交換、交流の機会を設けています。	○	家族は、面会時、電話にて利用者は、日常生活の中で意見、意向を聞ける様にしています。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	電話、面会時に暮らしぶり、健康状態は、伝えていきます。職員異動の時は、面会に来られない家族には、電話にて伝えていきます。お小遣い残等は、手紙、電話にて報告しています。		これからも、家族への連絡を、取っていききたいと思っています。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	今のところありませんが、意見、不満など話せる様な雰囲気作りには心掛けています。	○	家族が気軽に職員に話せる様、日頃からコミュニケーションを大切にしていきたいです。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員の意見、提案は、受け止め反映していききたいと思っています。	○	職員の意見、提案を反映できる様に努めています。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	利用者の状況変化があった時には対応できる体制があります。		ホーム長、看護師の連絡、協力が得られるようになってます。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動時は、利用者が不安を感じない様に管理者職員がいつも以上に関わりをもつ様にしています。	○	利用者の気持ちを大切にしていきたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	月に1回議題を設け、社内研修を行ってます。職員の能力、経験に応じ社外研修にも参加しています。	○ 社内研修は、定期的に行い社外研修にも職員が順次参加できる機会を進めています。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	市内グループホームの見学は、行ってます。	○ これからは、見学だけではなく、もっと交流を持ち意見交換をする場を持ちたいと思います。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	職員同士が交流する機会を多く設け、気軽に話せる雰囲気作りをしています。	個人的に話し合い相談できる場を多く設けたいと思います。
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	職員が向上心をもてる様な職場作り心掛けています。	○ 職員の意向を受け入れ、話し合い、各自が向上心を持てる様にしていきたいと思っています。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	利用者からの意見、意向をきく機会を設け受け止める努力はしています。	○ 言葉だけでなく、表情からも理解できるようにしていきたいです。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	家族が悩んでいる時など、差し障りのない範囲で聴き、少しでも支援できるよう努力しています。	家族と職員のコミュニケーションを、日頃から大切に話し合える様にしていきたいです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者と家族の気持ちを、できるだけ理解し対応に努めています。		他のサービスを利用する場合は、応じるようにしています。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	利用者・家族から生活歴など詳細に聴き、時間をかけ馴染めるようにしています。		信頼関係を築きながら、家族と話し合っていきたいと考えています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	自分自身を取り戻せる様、意欲を高め、趣味を続け一緒に学んでいます。	○	尊厳の気持ちを常に念頭に置き、利用者から教えてもらいながら共に生活していきたいです。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	家族と共有し、利用者を支えています。	○	密に家族と連絡をとり、些細な事でも話し合っていきたいと思います。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	よりよい関係になる様、生活歴など理解し支援しています。		本人が直接電話、職員から連絡をとったりなどして、要望に答える様にしていきたいです。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	友達との面会、利用前からの病院の受診など、関係が途切れない様にしています。		面会の際には、ゆっくりくつろいでもらえる様、心がけています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	個々の生活観を尊重し、趣味が一緒の利用者同士の関わり合い、体調が悪い利用者への声掛けなど、支え合っています。	○	職員が介する事で、よりいっそう関わり合いを持てる様にしていきたいです。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退所時には、移転先等聞いています。	○	退所してからも、利用者・家族が気軽に訪ねてもらえる様、心掛けたいと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	今までの生活と、あまり変化のない様、起床・就寝時刻・食事内容などの把握に努めています。		本人の意向を、第一に考えていきたいと思います。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴を十分に把握し、ケアに生かす様にしています。		こらからの、経過等の把握に努めたいと考えています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一日の言動、バイタル測定、食事摂取の量などの把握を行っています。		毎日、申し送りなどで確認を取り合っています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護計画は利用者個々の状態、特徴を考慮した具体的な計画が作成されています。		会議などで、職員から意見やアイデアが反映されています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	病気・怪我・身体の変化など、個々の状況に合わせて、見直しを行っています。		都度、家族に伝え、意向を聴く様になっています。
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人の日々の様子は個別記録に記入し、職員間は申し送りノートを使い、情報を共有しています。		記録を元に、介護計画の見直しに活かしていきたいと思います。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	常に柔軟な支援が得られる様になっています。		看護師・救急救命士等、都度対応体制になっています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○ 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	民生委員・近隣の小学生・ボランティア・消防の方と、関わり支援してもらっています。		ボランティアによる、お茶会・歌会・指圧等の協力を続けてもらいたいと思っています。
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域の連絡協議会や、居宅サービス事業者の方々の協力を得ています。		レクリエーションや行事等で、ホームに活用できる事、又サービス事業所のケアマネより入居相談などがあります。
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	2ヶ月に一度、推進委員会開催の連絡を行い、出席して下さっています。	○	町内の活動・催しに参加し、地域の方々と交流を深めながら、生活ができる様に話し合い、協力を得ています。



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	内科・整形・精神科・歯科など、協力をしてもらっています。		都度、病院側より指示を受け、家族への報告を行っています。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	かかりつけ医に定期的に受診し、相談を行っています。		かかりつけ医が認知症専門医なので、診断・治療を受けています。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職員を確保しており、かかりつけ医の看護師とは連絡を取り合っています。		特に入退院の際には、相談・支持をもらっています。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	早期退院に向け、医師とは密に連絡をとり対応を行っています。		入院中の情報交換は、頻回に行っていきたいです。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	本人・家族の意向を聴きながら、かかりつけ医に相談しています。	○	本人・家族の意向を尊重し、支援していきたいと思います。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	かかりつけ医の指示の元、家族へ連絡をとり対応しています。	○	ホームでの生活が一日でも長く続けられる様に、かかりつけ医の協力を得て、家族が安心できる様支援していきたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	住替え先には、十分情報提供を行っています。		本人の状態に応じて、対処しています。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	人格を尊重し、言葉かけは敬語で接する事を基本に、ゆったりした雰囲気作りに心掛けています。		個人情報の取り扱いには、十分注意をしています。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	自信の回復につながる様、支援しています。		本人が思いを表せる様、援助していきたいと思います。
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人一人の性格・状況に合った関わりを大切にしています。	○	話しやすい雰囲気を作り、個々のペースに合わせていきたいです。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	本人と一緒に服を選んだり、美容室では希望の髪形にする様にしています。		個性のある身だしなみを支援していきたいと思います。
54 ○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	落ち着いた楽しい雰囲気の中、職員と共に食事を楽しんでいます。個々の合った、食事の準備・片付けなどお願いしています。		体調の変化の把握、食事観察には十分気を配っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	体調を考慮し個々の状況に合わせ、できるかぎり好みの物を提供しています。		日常の会話の中で、好みを把握し支援したいと思います。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の排泄パターンに応じトイレ誘導を行い、トイレでの自己排泄を目指し支援しています。		本人のプライドを尊重し、誘導には心掛けています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	個々のペースを尊重し、プライバシーには十分配慮しています。	○	できるだけ本人の希望(日・時間)にあわせたいと思います。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	昼寝の時間・一日の活動量・体調を観察し、安眠に向けて支援をしています。		夜勤者からの申し送りによる、睡眠パターンを十分把握し、日常の活動につなげたいです。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	個々の生活歴・趣味など十分把握し、その人にあった楽しみ事・役割は支援しています。		個々に合った楽しみ事、気晴らしを増やしていきたいと思います。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	事務所にて、こずかいとして管理しています。都度、必要な物があれば購入しています。		希望や日に応じ、買い物に出る機会を日常的に作る様努めていきたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	散策・畑での野菜収穫、近隣のお祭り、小学校の学習発表会などに出かけています。		体調をみながら無理強いせず、今後も続けたいと思います。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	年に一度、お花見・紅葉狩りにバスで出かけています。		外出する機会が多くなる様、又家族も参加できる様な体制にしていきたいです。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望があれば、自らフロアにある電話を利用しています。	○	手紙のやり取りがあまりないので、支援していきたいです。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	居心地よく過ごせる雰囲気作りに努めています。		馴染みの方々には、気軽に訪問して頂いています。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	社内・社外研修は行っています。		尊厳を大切にしていきたいと思っています。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	利用者の方の状態や様子に応じて、必要と思われる時はかけている事があります。		利用者・家族・職員が共用する玄関である為、出入りが自由なので必要に応じて施錠する事があります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	利用者の様子は申し送りに記入、引継ぎを行っています。		利用者の所在・様子を把握しながら、調理配膳などを安全には十分配慮しています。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	入居の際、危険な物は保管・管理しています。		家族に了解を得て行っています。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	定期的に研修を行い、個々の状態に合わせて体調・様子を把握しています。		連絡体制はあります。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	応急手当の講習・研修は行っています。		職員全員が、迅速に対応できる様にしていきたいです。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防訓練は年に一度、非常口の確認も行っています。	○	地域の人々の協力を得られる様な、体制にしていきたいと考えています。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	利用者の変化などはすぐに伝え、家族の意向を聴きながら対応しています。		ホームでの生活の様子や体調などを、面会時または急を要する時には、電話にて相談・対応できる様にしていきたいと思います。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日のバイタル測定・会話・表情などの変化を早めに見つけ、情報を共有し対応しています。		日常生活の中での変化に気づき、申し送りを忘れずに行い対応していきたいと思います。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服用の際、日付・名前を読み上げ確認しています。副作用・用法・用量は説明書により把握し支援しています。		安全に服用できる様、理解・確認を続けたいと思います。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	毎日、個々排便有無を確認しています。又飲食物の工夫・水分量・運動への働きかけをしています。		便秘が続く時は、かかりつけ医へ連絡・指示を受けています。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後の洗浄、夕食後は義歯を預かり消毒を行い、清潔を保つよう支援しています。		口腔状態のチェックは定期的に行われています。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日の食物の摂取量・水分量を記録し、確認しています。個々のあった食事形態使用する食器を工夫しています。		摂取量、水分量に変動がある時は、かかりつけ医に相談し指示を受けています。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎年職員・利用者共に、インフルエンザの予防接種を受けています。感染予防対策として、次亜塩素酸ナトリウムで消毒しています。		利用者・職員共に、うがい・手洗いを励行しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	台所は常に清潔にしており、調理器具の消毒は一日に一回、冷蔵庫の整理・消毒は週一回行っています。食材使用の際は、鮮度の確認をしています。		食材を扱う際は、手洗い・消毒を徹底していきたくと思っています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	花壇・観葉植物があり、出入り口には段差がなく、安心できる玄関まわりになっています。掃除は毎日行っています。		冬にはイルミネーションがあったりと、四季折々楽しめる様、これからも工夫していきたくです。
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	玄関・廊下・居間には、季節・行事にあった飾りつけをしています。食堂は楽しく食事できる様、雰囲気作りに関心掛けています。		安心して過ごせる様、これからも配慮していきたくと思います。
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	共用空間では、テレビを観たり体操レクリエーションを行い、自由にゆったり過ごせる様に配慮しています。又職員との談話、コミュニケーションの場ともなっています。		安心してくつろいで頂ける様配慮、季節を感じられる様な雰囲気作りをしています。
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	使い馴れた生活用品を、持ち込んでいただき、好みに応じた居住生活ができています。		今までの生活歴を、断ち切らないようにしていきたくです。
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	温度計をかけ、確認し調整を行っています。		毎日居室掃除の際は、窓を開け自然換気をしています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	多くの箇所に手すりが配置してあります。床はバリアフリー対応など、機能の低下に合わせ配慮しています。		トイレ・浴室・居室入り口には、わかりやすい表示がしてあります。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	今までの生活歴を断ち切らない様な、環境作りを工夫しています。		個々の好みに応じた、居室空間ができています。
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	中庭・散策路があり、天気の良い日は外で過ごせる様になっています。又花壇・畑があり楽しんでいます。	○	冬期間の楽しみがないので、これからも課題にしていきたいと思います。



V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない ②
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ③
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない ①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ③

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

家庭的な雰囲気の中で、ご家族の意向を聴きながら、利用者の方々が安心して安全に生活できる様努めています。又地域の方々の協力を得ながら交流を深め、地域に密着したグループホーム作りを目指しています。